

## 平成20年度 第86回 教育研究審議会議事要録

**日時** 平成20年11月11日(火) 13:30~15:10  
**場所** 北方キャンパス本館 E701 会議室  
**出席者** 矢田学長、近藤副学長、松藤副学長、中野副学長、尾上事務局長、板谷外国語学部長、白石経済学部長、松尾文学部長、山本法学部長、梶原国際環境工学部長、漆原基盤教育センター長、横山社会システム研究科長、齋藤マネジメント研究科長、二宮教務部長、木原国際教育交流センター長、晴山都市政策研究所長、赤塚学術情報総合センター長、田村入試センター長、吉塚地域貢献室長

**配布資料**

- 1 欠員補充申請書(キャリアセンター)
- 2 転学部制度の創設について
- 3 入試広報戦略について
- 4 北九州市立大学社会システム研究科(博士前期課程)大学院進学説明会のご案内
- 5 仁川発展研究院(韓国)との共同研究発表会の開催
- 6-1 防犯について(学生への注意喚起のお願い)
- 6-2 住宅侵入被害事例について

(冒頭、第85回教育研究審議会議事録(案)について確認。)

### 第1号 教員の採用について

\* 資料1のとおり、キャリアセンターからの申請に基づき、平成21年4月1日付で基盤教育センター准教授として採用される眞鍋和博准教授の後任として、キャリアセンター事業の企画と運営を担当する教員1名の欠員補充について提案。

- 今回採用の提案があったキャリアセンターの教員は、学生の進路に責任を持つ重要なポストである。すでに基盤教育センターへの異動が決まっている眞鍋先生との科目の調整によっては、かなりの負担が予想される。教育責任が大きくなると本務に支障が出るのではないかと。
- 不況の時代で就職難が予想される。キャリアセンターの業務に集中できる体制をお願いしたい。
- 眞鍋先生が担当している基盤教育センターの6科目の担当科目負担については、今後調整していきたい。
- ひびきのの基盤教育科目「職業と人生設計」の担当はどうなるのか。
- 後任者の専門分野を踏まえ、眞鍋先生か後任者のどちらかが担当する。また、これまでと同様にひびきのの就職支援にも関わっていく。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

## 第2号 転学部制度の創設について

\* 資料2のとおり、転学部制度の創設について提案。

- 今回は、転学部について制度の骨子を提案したもの。各学部等で検討の上、次回の教育研究審議会で意見をもらい、修正案が出れば、これを踏まえ12月9日の教育研究審議会で再提案し制度骨子を確定したいと考えている。なお、この転学部には国際環境工学部も含まれる。
- 文学部では、転学科は2年次からとしている。「学部固有のカリキュラムについて事情がある場合は2年次も認める」とあるが、この場合、申請時期は2年次の2学期ではなく1年次の2学期となるのか。
- 転学部後の所属年次の考え方は、2年次の2学期に申請して、新たな学部で3年次からの履修が可能と判断できれば3年次、そうでなければ学生と留年を合意の上で2年次になるという理解ではないか。
- 転学部後2年次に所属になる場合、転学部後の学部で2年生を2度繰り返して進級できなければ、進級制度上、1・2年次の在学期間4年を超えられないため、在学できなくなってしまう。専門科目をほとんど履修していない1年次末に申請、2年次所属にした方が学生にとって良いのではないか。

【議長】次回の教育研究審議会で学部等の意見を頂くということで、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

### 報告

① 入試広報戦略について、資料3のとおり報告があった。

- 高校訪問など広報手段1つ1つの効果測定は可能なのか。学部で実施したアンケートでは、どんな広報を見たかの質問に、ホームページを上げる学生が多かった。
- これからは入試と広報が一体となって、学びの特色など北九大全体のブランド力、魅力で受験生を引っ張ってくる必要がある。メディア等を使った保護者や受験関係者等の不特定多数の興味を引く戦略も大切である。
- 最近、北九大のイメージが非常に良くなったとの声を聞く。偏差値が高くなったわけではない。それは、新聞などマスコミに頻繁に取り上げられるようになったからである。講演会等に出かけていく先生方の日頃の活動・活躍が原動力となっていることを忘れてはいけない。「お出かけ企画」は、学部の自主的な動きに任せるので、合理化させながら重点整理をしてもらいたい。

② 社会システム研究科の学生募集について、資料4のとおり報告があった。

③ 仁川発展研究院(韓国)との共同研究発表会の開催について、資料5のとおり報告があった。

④ 防犯について(学生への注意喚起のお願い)、資料6-1、6-2のとおり報告があった。

⑤ 次回の審議会を11月25日(火)に開催する予定である旨、報告があった。